

新年のご挨拶

県央経営者会会長 大泉 政治



明 けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかな新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

さ て、昨年の日本の経済は流行語大賞にもなった「アベノミクス」から始まり、円安・株高と経済は良い方向に向かいつつあると言われていきます。しかし、我々中小企業にとっては、まだまだ本格的な景気回復までに至っていないのが実感ではないでしょうか。

一 方、県央経営者会におきましては、昨年2月15日に神奈川県が主導してきました「ロボット産業特区」が国のご承認をいただき、介護ロボットの推進をしてみられましたわれわれの活動に「一層の弾みがつきました。また、6月には、相模川景観づくり推進の成果として、厚木市他の御協力により「相模川ローズガーデン」を開園しております。このバラ園は、市民の憩いの場として、また本厚木駅南口商店街の活性化を視野に入れた取り組みで、今後も継続して取り組む所存でございます。

続 いて7月には、土地の選定から関電所を開所することができ、また、本年度には第2期工事が行われ、4メガワットの大出力発電所になる計画です。

県 央経営者会は、来年度には創立10周年を迎えることとなりますが、そこでは、この10年間の活動の成果が示されることとなります。10周年においては、会員の皆様の英知とお力をいただき、明るい未来像を確立すべく努力してまいりますと存じます。

会 員の皆様の更なる発展と健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



県中央経営者会第43回例会 甘利明経済再生担当大臣講演会

日本経済の現状と今後の展開—日本再興戦略について

(JAPAN is BACK)

■日 時 平成25年10月12日(土) 午後6時～7時20分
 ■会 場 オークラフロンティアホテル海老名 3階ラ・ローズ



甘利 明経済再生担当大臣



大泉 政治会長

■はじめに

本日は、当初月曜日に行われるというこの会を私の都合により土曜日にご覧いただきありがとうございます。私は安倍総理のスケジュールによって公務を行っていない者として安倍総理に自分のスケジュールの都合を申し上げる事は出来ないのであります。週末ならば何とかかなという事で、今回このようにして頂きました。にもかかわらず、これだけの方にお集まり頂いた事を感謝致します。

■アベノミクスについて

アベノミクスは金融、財政、成長戦略の3本の矢の経済政策を同時に進行しているものであります。この効果はご存知の通り、GDPの伸び率が昨年7月～9月期のマイナス3.5%から今年4月～6月期の3.8%に躍進し、この事は世界からも驚嘆される成長率となりました。

私は第二次安倍内閣の時も入閣し、今回の第二次安倍内閣でも閣僚ですが、第一次の安倍総理と今の安倍総理は全く別人のようなんですね。病気は薬によつて劇的に改善していますが、総理の病気は難病指定されているものなので完治はしません。しかし、前は全く飲めなかったビールや焼酎をグイグイやつて、月に1度の外遊と地方遊説など、かなりハードに活動しています。

私などは傍から見ていて心配で「総理はこれから6年やらなくてはいけないのだから、あまり無理なさらないでくださいよ」と申し上げたりもしましたが、とにかく元気でこの国の為に邁進しています。

もう周知の事実となっているので申し上げますが、私がこの任に就くのは実はかなり前から決まっております。昨年の衆議院選の時、自民党本部でテレビの開票速報を安倍総裁、石破幹事長、それと政調会長であった私と3人で見

ておりました。当選の花が咲き、自民党圧勝の報道が次から次へと流れてきました。石破幹事長が少し席を外して、2人きりになった時に私が「次は人事ですね？どうなさるのですか？」と聞いたところ、総裁は「甘利さん、次は入閣してもらおうよ」と仰られた訳です。「最重要課題である経済政策の司令塔になつて欲しい」と、その時言われました。

それからは、総理が目指す政策を具現化する為の体制作りに邁進しました。総理、閣僚、各省庁の流れを三元化する事に尽きましたのであります。特に私の所管である経済再生を担う所には各省庁を横断して優秀な人材を集め、その後アベノミクスとなる経済政策を実現する為の骨組みを詰めていったのです。今迄の経済政策は、各省庁が挙げってきた政策を閣議で審議し、承認して終わりました。あとは各省庁の役人任せという所で終わりだったのですが、この安倍内閣は全く違います。

全ての政策に期間を定めて、その進捗状況を総理に報告しなくてはならないのです。例えば3年計画の政策が半年後、1年後にどれだけ進捗しているか？所管の大臣は総理に報告しなくてはなりません。もし出来ていなかったら、何故出来ていないのかを説明し、足りないものを補正し、必ず実行しなくてはならないようなシステムになっています。出来なければその大臣はアウトなので、目の色を変えて取り組んでいるのです。安倍政権は政策が出来た所がスタートで、それを実現していくという所が今迄と全く違う構造なのです。

金融政策においては、日銀と強固に連携してデフレ脱却に邁進して参りましたが、緩やかなインフレを起こす政策に反発もありますが、デフレ社会においては物価がどんどんと下がっていくばかりなので、お金を流さない、持ち続けた方



が得な社会であり、市場に金が流れず、流通が滞り、しいてはこの国全体の経済成長を縮めていくばかりになってしまふのです。日銀が大胆に金融緩和を行う事によって、一気にデフレから脱却し、市場にお金が出回るようにする事が何よりも重要な事だったので。

機動的な財政政策は、老朽化したインフラを新たに整備する事によって大きな雇用を生み出し、災害に強い国造りを同時に行う事です。また、世界トップクラスの街づくりを行います。外国の方が住みやすい、インターナショナルスクールや医療施設の充実、大学の整備なども行つて、公共事業を充実しながら、安全でより良い国造りをします。

成長戦略の大きな柱は、今まで有効に機能していなかったこの国のシステムを大胆に造りかえる事です。例えば医療技術や製薬などに関して、我が国は素晴らしい技術とたくさんの特許を持っているのに、いざ医療商品となると輸出よりも輸入の方が1兆円も上回っている現実があります。これは何故かと言うと、その技術や特許が市場に出る商品になるまでの手続きが長過ぎるのです。まず、動物実験をして、安全を確認した後に臨床実験をして、その後様々な手続きを経てやっと認可が下りるといふ長い間に、外国企業に先に商品化されてしまう。その現実を打破る為に、その期間をぐっと短縮し、素晴らしい技術や特許、iPS細胞の技術などを早く実用化出来るように、次の国会で法制化します。

また、民間が投資しやすい特区も作っていく必要がありますが、これは前の政権時に決めた政策がネックになつて組

立てが難しい現状があります。前政権は特区を先に決めた上で、後で特区から申請のあった規制緩和項目の検討を各省庁に依頼するという形だったので、省庁が反対し特区から申請された規制緩和項目が全く実現しません。ある時、神奈川県知事が私の所に来て、特区に関して12の項目を申請したのにも通らなかつた。「名ばかり特区」じゃないですかと言われました。まず、規制緩和項目を実現した上で、各特区がそれらの規制緩和項目のメニューの中から選んで利用できる、というやり方にすれば出来たのに、それが逆になつてしまつていたので。安倍総理の凄いい所は前政権が間違つていようと何であらうと、全ては現政権の責任において行つていきついでいる所です。我々もその腹積もりで経済特区を推進していきます。

それと、同業種の企業の不採算部門をそれぞれ切り離し、統合して、それぞれの会社の持つ特性や技術を併せてより国際競争力の高い、新しい会社を造れるようにして、これを国が支援するという取組も既に始まっています。このことは、強固に推進していく必要があると思つております。

消費税について

消費税増税について、ある人は「安倍総理はずっと前から増税を決めていたのではないか」と言われる事があります。実は本当にギリギリまでシミュレーションを重ねた上での決断だったので。何故ならば、折角昇り調子になつた経済が増税を行う事で停滞するような事があれば、今後最低15年間は誰が総理になつても増税が出来なくなつてしまいます。安倍総理は、総理大臣として大きな決断をする為に、増税を行つても経済成長が持続するようにしっかりとシミュレーションを行うように私に指示しました。そこで、膨大なシミュレーションを重ね、増税と経済成長を持続させる政策を打出し、増税を決定したわけです。

法人税減税を1年前倒しにして、そのかわり減税分を雇用賃金に充てるという政策は様々な意見が出ています。だから、財界も頑張つてくださうと言いました。賃金が増えれば、消費が増えて、結果的に財界も潤う訳で、雪だるまは転がりはじめれば大きくなりますが、転がりはじめは何かで押してあげる力が必要なのです。雪だるまを眺めていても動きはしません。ただ、何か力を与えて押してあげれば、雪

だるまはどんどん大きく転がってゆくの。それと同時に、企業に世界的な競争力を付けさせるために最新式の機器の入れ替えに関する減税を行います。もちろん、中小企業の中には元々赤字なのに減税されても変わらないよという方もいるでしょう。そのような企業には、機器入替の為の補助金を出します。1500億円の規模で試算をして予算化します。

TPPについて

TPPはWTOが担つてきた関税経済から、ある意味で21世紀型の新しい経済圏の創出であり、乗り遅れる訳にはいけません。韓国もTPP交渉への参加に関心を示し始めています。中国、韓国が入らないのに何故日本が入るのだとか、もつと様子を見てもう少し後で入れれば良いのではないかという意見も多いですが、このような新しいレギュレーション創りには初めから参画しないと意味がありません。後で入つても、決まつたレギュレーションの中でお金を支払つて加入するといふ形になってしまうからです。

つい先日までバリにいましたが、その時タイの副首相からアベノミクスについての会談を申し入れられ、話した所、タイもTPPへの参画を考えているようでした。現在、日本と米国の含めたTPP参加国で世界経済の40%に至る巨大な経済圏になります。今後更にASEAN諸国の参加が拡大し、中国、インドが加わるRCEP(東アジア包括経済連携)とつながつていけば、世界経済の実に60%を越える巨大な経済圏となるのです。この事自体がEUを刺激し、EUも日本とのEPA交渉に踏み切りました。この世界的な大きな経済の流れに乗り遅れる事は絶対に出来ないのです。

最後に・・・

先日ある外国の方に聞かれました。「アベノミクスは本当に成功するのですか?」
私はこのように答えました。
「アベノミクスは成功するまでやり続けるのです」
と・・・
ご清聴ありがとうございました。

甘利 明経済再生担当大臣と記念撮影

写真をご希望の方は下記の申込書にご記入いただき FAX して下さい。



Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ



Ⓔ



Ⓕ



Ⓖ



Ⓖ

申込書

ご芳名：

住 所：

TEL

写真No.

枚

申込先：県央経営者会事務局 **FAX : 046-206-9110**



県央経営者会第44回例会（青年会主催）が開催される

売り上げを変えずに会社にお金を残す方法

助成金・労務・財務の3つの視点

■日時 平成25年12月9日（月）午後6時～7時45分
 ■会場 レンブラントホテル厚木 3階相模の間

（株）エフアンドエムは、売上を上げなくても会社に残す方法をテーマに、全国2万1千社に対してコンサルをしている会社である。今回の白木氏の講演は、財務戦略をいかに行うかをポイントにしたセミナーであり、そのための詳細な資料が参加者に配られたので、内容の記録は割愛させていただいた。もし当日の資料がほしい方は事務局までご連絡ください。資料を送付いたします。

例会の進行は、以下の方々が担当しました。

例會司會 古瀬智也氏（ウッドクラフト（株））
 開會のことば 佐野良太氏（税理士法人SANO）
 講演謝辭 大泉秀治氏（株オーイズミ）
 閉會のことば 蜘蛛匠氏（株アヌイ）
 懇親會司會 岡田徹氏（株Annyway）
 懇親會開會挨拶 小林伸吾氏（南かじや）
 懇親會中締め 今井銀河氏（株イマイ）

今回の例会には、会員会社3社の訪問DVDが放映されました。出演者は、以下の方々です。

（株）カナオリ 専務取締役 高野 浩治氏
 （株）あい薬局グループ 代表取締役 金 俸基氏
 割烹旅館 大進館 代表取締役 佐藤 淳一郎氏



講師 白木 和之氏

株式会社エフアンドエム
 中小企業コンサルティング事業本部本部長

【講師紹介】

1964年 東京生まれ
 1995年 エフアンドエム入社

全国の各団体や組合などでセミナー講師をしている。
 年間で120回ほどのセミナーを実施。



挨拶する大泉 政治会長



大泉 秀治氏



佐野 良太氏



蜘蛛 匠氏



小林 伸吾氏

あつぎ国際大道芸で初めて
県央経営者会の展示が行なわれる

日時 平成25年11月9日～10日
会場 厚木市中央公園



あつぎ国際大道芸が繰り広げられるメイ
ン会場で、「にぎわい爆発!あつぎ国際大
道芸2013 まち元気物産フェア」に
出展しました。この大会は今年で7回
目で、県内最大のパフォーマン
スを見られるということ
で、各地から大勢の人が参加
されました。

県央経営者会では今年初めてブ
ースを借りて活動の展示をし、交通委員
会ではアンケートを作
って一般市民の皆さんの意見を
いただきました。アンケートは第1回
目でもあるので500枚印刷し、答
えてもらうため「箱根温泉へア
宿泊券」を特等としてあ
と何点かの賞品を出しました。そ
の結果、10時に開始と同時に
たちまちに長い列ができ、2日分
として用意していた景品があ
っという間にはけてしまいました。
翌日が大荒れという天気予報
でもあり、1日で店じまいをせざる
を得ない羽目となってしまい、
2日目に来ていただいたお客さん
にご迷惑をおかけしてしまいました。

【アンケート賞品提供者】

株式会社アイワプランング	代表取締役 増田健治氏
厚木ヤクルト販売株式会社	代表取締役 高田喜八氏
株式会社アトランティックツアー	代表取締役 霜島 篤氏
荒川米店株式会社	代表取締役 荒川誠二氏
株式会社オーイズミ	代表取締役 大泉政治氏
株式会社大橋	代表取締役 金澤 平氏
株式会社CMC	代表取締役 本田久米子氏 (アイウエオ順)

介護用ロボットのアイデア大募集!

今般、私達の住むこの県央湘南地域が、「さがみロボット産業特区」として指定を受けました。県央経営者会は、これまでも県央湘南地域の発展のために種々の活動を行っており、特区の指定を受けた生活支援ロボットについても、この地域の発展のために積極的に関わろうと考えております。つきましては、下記のような生活支援ロボットのアイデアコンテストを開催し、県央湘南地域の皆様の知恵を募ろうと計画いたしました。

未来の県央湘南地域発展のため、すばらしい、そしてユニークなアイデアを募集いたします。

◎賞金 グランプリ 1点50万円

優 秀 賞 5点各2万円

◎募集期間 平成26年1月15日～3月15日

*内容の詳細は、ホームページをご覧ください。

「現たぬり人、認知症の人をはじめ、要介護の方々及び介護している方々をサポートする為の生活支援ロボットに関するさまざまなアイデアを募集します。こんなものがあつたら介護の人のケアや負担に役立つのではない、あるいは介護している人の精神的、肉体的負担を減らせるのではないかなど、どんなアイデアでも結構です。ユニークなアイデアを考えてください。」

テクノカル部門 賞金50万円
アイデア部門 賞金2万円×5本

応募期間 平成26年1月15日～3月15日 (3月15日郵着必至)

お問い合わせ 県央経営者会事務局 TEL.046-296-7010 FAX.046-206-9110 〒243-0017 厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所403号

応募資格者 神奈川県に在住・在学されている方

県央経営者会

主催 県央経営者会 ◆後援 神奈川県 さがみACI湘南産業振興団 江戸川研究開発拠点都市推進プロジェクトチーム76

【県央経営者会事務局】
〒243-0017 厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所403号
TEL.046-296-7010 FAX.046-206-9110 メール: kenou-k@tanzawa.or.jp